

第2回部活動地域移行検討委員会議事録

日 時：令和5年10月19日

場 所：虹のプラザ「中会議室」

課長	第2回目の検討委員会となる。はじめに教育長より挨拶申し上げる。
教育長	(あいさつ)
課長	それでは早速協議に移る。座長を教育長に御願いして進めていく。
教育長	(1)各部活動での話し合い結果の報告について。資料1ページになる。前回委員会から、各部でどのような話し合いになったか、お聞かせ願いたい。最初に野球部から。
委員	野球部では現時点でもクラブ活動として土日活動している。そのまま移行が可能である。
教育長	次に陸上部。
委員	地区内にJSCというクラブチームがあり、そちらで陸上も活動できる。JSCと連携を進めていくか、またはJSCではスキーがメインで陸上の指導を専門としている人がいるわけではないので、尾花沢市にあるアスリートというクラブと連携を進めていくかということになる。また現在、部活動指導員としてSさんが当たっており、年齢的にもう厳しいとおっしゃっているが、資格を取得してもらいクラブチームを立ち上げてもらう等も考えられる。どれがよいか現在模索している。
教育長	具体的な名前も挙がっており方向性が見えている。卓球部はどうか。
主査	卓球部は欠席となるが、保護者会長より報告をいただいているので代理で報告する。 地域クラブに所属している子が数名おり、その子らはそのまま移行可能だが、所属していない子らの活動場所について今後考えていかなければならない。
教育長	地域クラブがあり、入っている子と入っていない子の違いをどうするかという事か。次に柔道部。
委員	柔道部は、前顧問の板垣先生がスポーツ少年団の指導に当たっており、そちらで受け入れ可能となっている。
教育長	次に剣道部。
委員	剣道部は話し合いができていないため私見となるが、町内にスポーツ少年団があるため、そちらとの連携を進めていくことになると思う。

教育長	次にバレーボール部。
委員	バレーボール部は現在クラブチームに所属している生徒はいない。近隣のクラブチームとしては尾花沢市となるが、大石田では指導者は活動場所をどうしていくかは難しい状況であり、地域移行の話は進んでいない。
教育長	次にソフトボール部。
委員	ソフトボールも町内にはクラブチームがない。地域移行に当たってクラブチームを設立した場合、何人の生徒が参加を希望するかというところからになると考える。話し合いの中で出ている問題点は、指導者の確保と、活動場所について、クラブチームになった場合、どうやって試合経験を積んだらよいのかなど、課題は多い。
教育長	具体的な課題まで出ており、よく話し合われている。次に吹奏楽部。
委員	吹奏楽部では、コンクールの主催が県の吹奏楽連盟が主催であり、他のクラブとは考え方が違うのかなと思う。今後については顧問とも話し合っ決めていきたい。
教育長	文科系のクラブについては東根市が保護者とともに取り組んでいると聞いている。 各部活動について報告をいただいた。スポ少、クラブに移行できそうな部活と、まだ移行先が見当たらない部活動があるようだ。来年度から移行というわけではないので、十分話し合ってもらいたい。 委員の方々から、何か確認したことなどあるか。
委員	ソフトボール部は卒業生など町内にいないのか。
委員	高校生はいるが、もっと上の世代がいるかは調べてみないとわからない。
委員	指導できるような人がいればよいのだが。
教育長	ソフトボール部については場所という話もあったが、再来年あたりから小学校統合の工事に入るため、現在の場所が使用できなくなる。現在の場所で活動できるのは今年度が最後だったと聞いている。来年度以降は他校のグラウンドを使うと。中学校グラウンドを使うとすれば、野球グラウンドの反対側を使うとかになるのかもしれない。
委員	今更の確認になるかもしれないが、月～金の活動については、いつまで学校の先生にお願いすることになるのか。平日も含めて完全に移行するのか、当面土日だけ移行して平日は先生にお願いすることになるのか。
主査	のちほど今後のスケジュールでまた出てくるが、2ページに前回委員会で確認したスケジュールを掲載している。令和7年度末まで、つまり令和8年度から土日については移行するというスケジュールだった。そこから先、平日については国・県においても準備ができ次第移行とされており、

	年度は示されていない。
教育長	現時点では土日の移行のみで、平日移行のスケジュールについては示されていないということ。 今回、来年度の部活動について意向調査を行った。 (2) 意向調査の結果について、事務局より報告する。
主査	資料3, 4ページが今回小学6年生、中学1・2年生に配布した意向調査の内容となる。5ページが小学6年生の調査結果、6ページが中学1・2年生の調査結果となる。 来年度部活動に加入するとしている生徒が80%程度、部活動に加入せず、校外活動をしたい生徒が5%程度、現時点では部活動も校外活動も考えていないという生徒が15%程度となっている。ただし、小学6年生においては、部活動に入る意思はあるが、どの部活にするか決めていないという意味合いでDを選択した生徒もいるとのことなので、部活動に加入する生徒はもう少し増えるのではないかと見ている。 前回の委員会で、任意加入にすることで部活動が成り立たない人数になるのではないかと懸念が出たが、個別の部活動の人数を見ていくと、剣道部を除けばそこまでの状況にはならないのではないかと考えられる。
教育長	この結果を踏まえて委員の方より何かあるか。中学生は12名が部活動に加入しないという結果だがこれは多いか。
主査	1割程度かと想定していたので、想定よりはやや多い結果となった。
委員	調査用紙を見ると、保護者とも話し合って回答するとなっている。ということは部活動も校外活動もしないという選択を保護者も了解したという事でよいのか。
主査	そのような読み取りになる。
委員	なにもしないという生徒が心配である。
教育長	保護者と相談してとは書いているが、実際に相談したかまでは確認できない。生徒が自らの判断だけで書いたという事もあるかもしれない。 もしかすると、今後部活動に参加しないという生徒の割合は増えていく可能性もある。逆に部活動説明会などを経て、やっぱり部活動をやってみたいとなる可能性もある。
委員	担任からの話で、小学6年生の中には設問が難しく、入りたい部活動が決まっていないからDと回答した子がいると聞いている。部活動に入らないという意味合いの生徒は実際にはほとんどいないのではないか。
主査	事前にその旨連絡をいただいていたので、設問①でDを選び、かつ設問②でなににも選択していない回答については設問①をAに読み替えています。

教育長	東根あたりでも部活動に加入していない割合は8割程度なのか。
主査	同じ程度だと聞いている。
教育長	では(3)令和6年度の取り組みについて事務局より説明する。
主査	<p>まず①課題の整理について、第1回委員会で任意加入への切り替えについて、様々な懸念や、ご意見をいただいた。ここではその中でも多かった点について、他自治体の情報収集や事務局内で検討した内容をお伝えしたいと考えている。</p> <p>まず1点目の下校の仕方(バスの2便制)について、実際2便制は可能なのかという点だが、教育委員会としては2便制を実施する方向で検討を進めている。予算等の兼ね合いもあり、現時点で確実な回答はできないが、令和6年度から2便制となるよう調整中である。</p> <p>2点目、部活動に加入しない生徒の放課後の過ごし方について、心配する声が多かった。任意加入もそうだが、生徒の放課後の過ごし方について選択肢を増やすというのが取り組みの趣旨となる。まずは、各家庭で子供にどのように過ごしてほしいのか、子供自身はどう過ごしたいのかを十分に話し合ってもらうことからだと考えている。その中で部活に行く・行かない、塾に行く・行かない、何らかの活動をするなどを今後は選択していくことになる。</p> <p>3点目として、任意加入によって人数不足が懸念される団体競技について、先ほどもふれたとおり来年度については、競技できる人数が確保できる見込みとなっている。ただし、以前に示した通り今後生徒数の減少が続く、遠からず団体競技は部活動では人数が不足するのは確実である。今後は学校外に活動を移していくことを前提に考えていかなければならない。</p> <p>4点目、地域移行を見据えた外部団体との連携について、スポーツ面ではスポ少、スポ協をはじめとした各団体、町総合型スポーツクラブ、地域のクラブチーム、民間のジム等、文化面では町芸文協加盟団体、町内外の習い事や、総合型スポーツクラブでの教室新設など、受け入れ先として想定される選択肢は多い。活動場所や指導員の確保も踏まえながら、連携に向けて調整していく必要があり、他市町を見れば受け入れ先がなく、地元の指導者や保護者会が新たな団体を立ち上げたというケースも多数報告されている。そういった事例の情報や、先進事例との情報交換、また町内団体との連絡調整が必要であれば、町教育委員会で提供・仲介するので相談いただきたい。</p>
教育長	事務局の説明に質問やご意見はあるか。
委員	人数不足の件について、他の市町村との合同部活動ができない種目などは

	ないのか。野球などは合同チームで活動しているようだが、他の種目ではどうなのか。
主査	令和5年度日本中体連協議細則によれば、団体選手の全員が同一学校に在籍していることを条件とする等、種目によって市町村をまたいだ合同チームでの中体連参加ができないケースはある。 地域移行を進めていく以上、令和6年度以降緩和されていくとは思いますが、今年度はそういうルールだった。
教育長	それは中学校部活動として参加する場合か。地域スポーツクラブとして参加する場合も同様か。
主査	同様だった。
委員	柔道では、庄内のほうにクラブチームが3つほどあるようだが、クラブチーム同士で試合をし、1チームだけが県大会に出場できてとなっていた。
教育長	部活動での出場であれば学校長の許可で参加だと思うが、クラブチームだと学校は関係なくなる。そのあたりはどうなっているだろうか。
委員	わからない。
教育長	人数不足の懸念について、他にないか。 ではバスの2便制については質問やご意見はないか。2便制にはする方向だが、人数によっては1台のバスで下校という事もあるかもしれない。
	(挙手なし)
教育長	部活動に加入しない生徒の放課後の過ごし方についてはどうか。先ほど話題に出た平日部活動の地域移行にも絡んでくるが、その日は必ず来る。まずは家庭で話し合うことが大事。小学校の校長にも出席いただいているので、放課後の過ごし方について考えを聞きたい。
委員	過ごし方の指導というわけではないが、数年前小学校では午前5時間制度の導入があり、下校時刻をだいぶ早めた。早い時なら14時半、そうでないときでも15時半には下校となった。当時私も子供たちは下校後どう過ごすのかと心配したが、それまでだと歩いて家に帰って、宿題をして、遊んで、習い事に行って、とかなり遅い時間になっていたのが、地域で遊んだり、虹のプラザで友達と会ったり、学童で過ごす時間などが増えて、子供らしい時間が増えたように感じている。そう考えると中学生なら4時とか4時半に下校して、家について5時、そこからフラフラしている時間なんてそんなにはないのではないか。それほど心配いらぬのではないかと思っている。
委員	当校の場合は、ほとんどの生徒が下校すると学童に行き、学童で放課後を過ごし家に帰る。中学校に行ったときには自分なりの課題を見つけ、その

	ために過ごすのかなと考える。
委員	<p>中学校に入った子どもたちが自分で過ごし方を選べるというのは大きな意味を持つと思う。当校の生徒も9割が放課後は学童で過ごしている。学童に行かず直接家に帰る子は3名ほどしかいない。</p> <p>しかし、長い目で考えると、社会人になってから学生時代何に打ち込んできたかを考えると、部活動というのは大きな役目を持ってきた。これからも、小学校から家族と一緒に取り組んできたという自信が持てるような活動を考えていかなければいけないのかなと思う。</p>
教育長	<p>今回小学6年生にもアンケートを取っている。そんなことから、放課後の過ごし方については小学校のうちから教育できるのかなと思い、各小学校の校長に話を伺った。中学校の校長はどうか。</p>
委員	<p>部活動がない日で考えると、16時40分に授業が終わり、大体17時に下校となる。宿題なんかもあるだろうが、自分のために使う時間というのは必要だと思う。その時間にフラフラしているような生徒がどれくらいいるかと考えると、ほとんどいないのではないか。今、中学生は塾に行ったり、それも3年生ともなれば11時、12時に帰ってきて疲れている。当然授業にも支障をきたすし、マイナスになる。そういう疲れの解消にもつながるのではないか。自由な時間があると子どもはろくな事をしないというのは大人の偏見に過ぎないのではないかと考えている。</p>
教育長	<p>部活動が果たしてきた意義を感じることもあるだろうが、これからの時代を生きていく中で、自分で自分の課題を見つめて、将来こうなるんだという意識を持たせていくことも必要なのではないかなと思う。</p> <p>保護者の方はどう思うか。</p>
委員	<p>部活動の意義というのは大きかったのだろうとは思いますが、部活動がなくなるとどうなるのだろうという不安は正直ある。部活動で学べることは、授業で学べることと両輪の関係にあると考えている。</p> <p>話は少し変わるが、これから生徒の人数は減っていく。減っていけば団体競技の人数は足りなくなり、そうなると思うが、地域のクラブに行ったり、他の学校と一緒に活動したりすることで活動はできる。地域移行も前向きにとらえ、子供たちの選択肢が増えると考えて、皆さんに取り組んでいただくとよいのかなと考える。</p>
教育長	<p>保護者の方々を代表する意見として受け止めたが、他の方はどうか。</p> <p>これまでは限られた中から活動を選ぶしかなかったが、これからはやりたい活動にあわせて居場所を選んでいけるようになる。そういった前向きな部分もあるのかなと伺った。</p>

	外部団体との連携の話もあった。スポーツクラブ会長さんからはなにかないか。
委員	<p>心配な点としては、何にも参加しない生徒のこと。私が教員だったころは、生徒指導の観点から部活動は全員の加入を前提としていた。それから考えると、何にも参加しない生徒の生徒指導がどうなるのか心配がある。</p> <p>また、問題として保護者の経済力が生徒の体験に大きく影響し、生徒が本当にやりたい活動ができているのか。お金のかからない活動を選ばされているのではないかという事。地域移行を進めるにあたって、生徒たちの希望を全てかなえるというのは非常に困難である。できるだけ生徒たちがやりたい活動ができるよう、町には指導者の確保や予算措置を頑張ってもらいたい。</p>
教育長	スポーツ推進員はどうか。
委員	まずは他市町村の動向を踏まえて判断していかなければならない。私事だが、うちの子供たちは水泳をしている。町内には活動場所がなく、東根市まで送迎をしている。部活動の種目によっていろいろなケースがあると思うが、周辺の情報を集めながら取り組んでいく必要がある。
教育長	<p>近隣市町の情報収集をするとともに町としての考えを出していかなければならないと考えている。</p> <p>部活動指導員もしている委員はどうか。</p>
委員	どうしても今までの部活動が我々の頭には残っているが、根本的な考え方を変えていかなければならないんだなとお話を伺いながら感じていた。今の部活動は15時半とか16時に開始しているが、地域移行後はこれは無理だろう。指導者の都合で地域移行後は夜の活動が主になる。子供の生活リズムも変わってくる。子どもたちは早く帰って、宿題をして、あとから部活に行くような生活リズムになっていくのかなと思う。かつての部活動の良さを追おうとすると無理が出てくる。新しいかたちで子どもたちを育てていく姿を探っていかなければならない。先ほど水泳の話が出たが、新しい小学校には一般開放するプールができるような話もある。そうなればプールを活用したような活動も出てくるだろうし、町内に民間のジムもオープンした。子どもたちのやりたいことも多様化してきている中で、子どもたちに色々な選択肢を作っていくのが我々の役目なのかなと感じている。
教育長	芸文協はどうか。
委員	書道や絵画、民謡などをやりたいという生徒がいればぜひ受け入れたいと考えている。

教育長	②今後のスケジュールについて事務局より説明する。
主査	<p>これまで8年度から土日の地域移行でスケジュールを考えてきたが、先ほどから話が出ているように、令和9年度になればプールができる、あるいは空き校舎が活用できる等大石田町特有の事情がある。一つの選択肢としてだが、令和9年度から移行するというのも考えられるのではないかと事務局内の話し合いで出てきた。メリットとしては今挙げたように、活動場所の選択肢が増える、単純に1年間の猶予ができるなど。</p> <p>またあわせて、土日のみ移行すると、平日との指導方針の違い、平日と土日でそれぞれ対応できる指導者を探さなければならない、事務的な負担の増加など、様々な課題が想定されていたが、平日も同時に移行するという選択肢もあるのではないかと、という案も出ている。</p> <p>この2点について、委員のご意見を伺いたいと考えているが、今日この場で決めるというわけではないので、各団体に持ち帰っていただき、次回の検討委員会でお聞かせ願えればと考えている。</p>
教育長	次回検討委員会の予定は。
主査	当初は6年2月に、7年度の部活動について情報共有を図る予定だったが、今後の方針を決めるためにも今の2点について各団体の考えを確認するために、1月に一度検討委員会を持たせていただくこともあるのかと考えている。1月ないし2月で決まり次第ご案内したい。
教育長	<p>次回の予定について、お忙しい中とは思いますがよろしく願います。</p> <p>任意加入にはなるが、6年度の部活動はこれまでと同じ部活動ということではよいか。</p>
主査	6年度はこれまで同様の部活動を維持してもらおうようお願いする予定である。
教育長	さきほどスポ少に移行可能だという話もあったが、試してみる必要はないか。
主査	任意加入になることもあり、受け入れ団体が可能だとなれば、どんどん前倒しで取り組んでもらって問題ない。すべての部活で一斉にやらなければいけないということはない。子どもたちの選択肢が増えるという点では、受け入れ団体が準備でき次第移行してもらうのは良いことなので、その際移行のやり方など不明点があれば、事務局で事例を調べる等でお手伝いできるのでご相談いただきたい。
教育長	事務局は今各部から出してもらったことに対して、2月の検討委員会で何ができるか具体的に出してみてもどうか。
主査	各保護者会で検討材料になるよう、学校を通して部活動に関する広報紙を

	各保護者に配布する。
教育長	野球部では移行できる、なに部ではまだ難しいなど、各部の状況が分かれば来年度の取り組みに参考になるだろう。
主査	積極的に情報発信していく。
教育長	第2回検討委員会に向けてはそのようにお願いします。 平日移行についての話が出たが、平日についてはまだ県・国ともいつまでと示されていない。今日3市1町の教育長の集まりがあり、この話題を出してみたが、どこもまだ平日部活動をなくすという考えは無いようだった。取り組みとして東根市のある中学校では、教員の勤務時間内に部活動を終えるという事をやるそうだ。一方で、時間内で無理に維持するよりは、部活動自体を完全に地域移行したほうが良いという意見もあった。教員の立場からはどうか。
委員	部活動の教育的価値は高いと思っているが、国の方針として自己選択をする方向に移行していく。教員自身が部活動にかかわりたかったら、地域のクラブチームに所属して、指導者として指導に当たるなどしなければならないのかなと思っている。生徒自身が自己選択できる選択肢が広がるのはいいことだと思うので、それが部活動であれ、塾であれ、趣味であれ自分の将来を見据えて、自分の生き方を自己決定していくようになればいい。すでに3年生の放課後学習会は、以前は全員だったが、今は選択制で残って学習する生徒もいれば、早く帰る生徒もいる。そんな風に自分の将来を見据えた決定を推奨していくのがよい。
委員	長く教員をやってきた。私の専門は本来卓球なのだが、転勤すると毎回卓球を指導するとは出来ない。ほかの色々な種目の部の顧問もやったが、そうすると生徒としては専門外の顧問から指導を受けることになり、気の毒だなと思っていた。その点地域移行になれば、やりたい種目を指導できる。私も退職後には、尾花沢市に卓球のスポ少があるので、そちらに参加したいと思っている。
教育長	これからも課題は多いと思うが、次回の検討委員会まで話し合っただけだと思う。 以上で協議を終わる。
課長	第2回部活動地域移行検討委員会を閉会する。